

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成28年度採択）

中間評価結果（公表用／ハード分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
28-6	新設コンクリート構造物における表層品質検査手法の確立	広島大学 准教授 半井 健一郎	B
<p><研究の概要></p> <p>これまで直接的な検査が不可能とされてきた、コンクリート構造物の耐久性を支配する表層品質を、非破壊試験の組み合わせによって定量的かつ合理的に評価する新たな検査システムを構築し、道路ストックの長寿命化の推進に資する。</p> <p><中間評価></p> <p>研究の進捗状況は概ね順調であり、研究成果の見通しがある程度期待できることから、指摘事項に留意しつつ、自治体の管理する現場でも実施可能な手法での試験の精度向上も進め、現行の通り推進することが妥当と評価する。</p> <p><今後の研究計画・方法への指摘事項></p> <ol style="list-style-type: none">1. 試験の精度を低下させる因子の洗い出しを系統だって実施し、分析する必要がある。2. 現場におけるPDCAサイクルの向上にも資するように検討していただきたい。3. 試験装置購入ではなくレンタルや業務委託、関係機関との連携強化等による研究の効率化が必要である。			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第31回新道路技術会議において審議したものである。